

小松市「珠玉と歩む物語」保護条例施行規則と  
小松市「石の文化」レガシー認定制度実施要綱について

次のことについて議決を求める。

記

小松市「珠玉と歩む物語」保護条例施行規則を次のように制定する。

小松市「珠玉と歩む物語」保護条例の制定に伴い、第6条にある石の文化に係る建造物等及び第7条にある地質鉱物について、その内容を定めるために制定する。

施行予定日：平成29年5月1日

小松市「石の文化」レガシー認定制定実施要綱を次のように制定する。

小松市「珠玉と歩む物語」保護条例の制定に伴い、条例の基本理念を受けて、「石の文化」の魅力拡大や価値向上を図り、適切に保護し次世代へ継承するために制定する。

施行予定日：平成29年5月1日

## 小松市「珠玉と歩む物語」保護条例施行規則について

### 【規則で定める内容について】

#### (1) 条例第6条の内容を決める

##### 〔条例文〕

第6条 石の文化に係る建造物等（建造物その他の有体物であって規則で定めるものをいう。以下「建造物等」という。）の所有者及び占有者は、当該所有又は占有に係る建造物等の保護を図るよう努めるものとする。

##### 〈規則文（案）〉

小松市文化財保護条例第2条の文化財のうち建造物、彫刻、工芸品で歴史上価値の高いもの及び考古資料と、遺跡で歴史上又は学術上価値の高いものとして市長が指定したものをいう。

※小松市文化財保護条例から「石の文化」と関係が深いものを抽出。

#### (2) 既存の文化財保護関連法との重複を避ける

##### 〈規則文（案）〉

ただし、次の各号に掲げるものを除く。

- (1) 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第27条第1項の指定を受けたもの
- (2) 石川県文化財保護条例（昭和32年石川県条例第41号）第4条第1項の指定を受けたもの
- (3) 小松市文化財保護条例の指定を受けたもの

※既存法で守れないものを守る条例であることを明確化する。

#### (3) 条例第7条の内容を決める

##### 〔条例文〕

第7条 土地の所有者及び占有者は、その所有又は占有に係る土地に存する地質鉱物（地質及び鉱物であって規則で定めるものに限る。以下「地質鉱物」という。）の保全に努めるものとする。

##### 〈規則文（案）〉

碧玉、オパール、水晶、メノウ（玉髓）のほか、学術的に価値のあるものとして市長が指定した鉱物とする。

※地質鉱物について、小松市にとって重要な鉱物を抽出。

小松市「珠玉と歩む物語」保護条例施行規則をここに公布する。

平成28年5月1日

小松市長 和田 慎司

小松市規則第 号

### 小松市「珠玉と歩む物語」保護条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、小松市「珠玉と歩む物語」保護条例（平成28年小松市条例第32号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(保護対象となる建造物等)

第2条 条例第6条の規則で定めるものは、小松市文化財保護条例（昭和36年小松市条例第28号）第2条の文化財のうち建造物、彫刻、工芸品で歴史上価値の高いもの及び考古資料と、遺跡で歴史上又は学術上価値の高いものとして市長が指定したものをいう。ただし、次の各号に掲げるものを除く。

- (1) 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第27条第1項の指定を受けたもの
- (2) 石川県文化財保護条例（昭和32年石川県条例第41号）第4条第1項の指定を受けたもの
- (3) 小松市文化財保護条例の指定を受けたもの

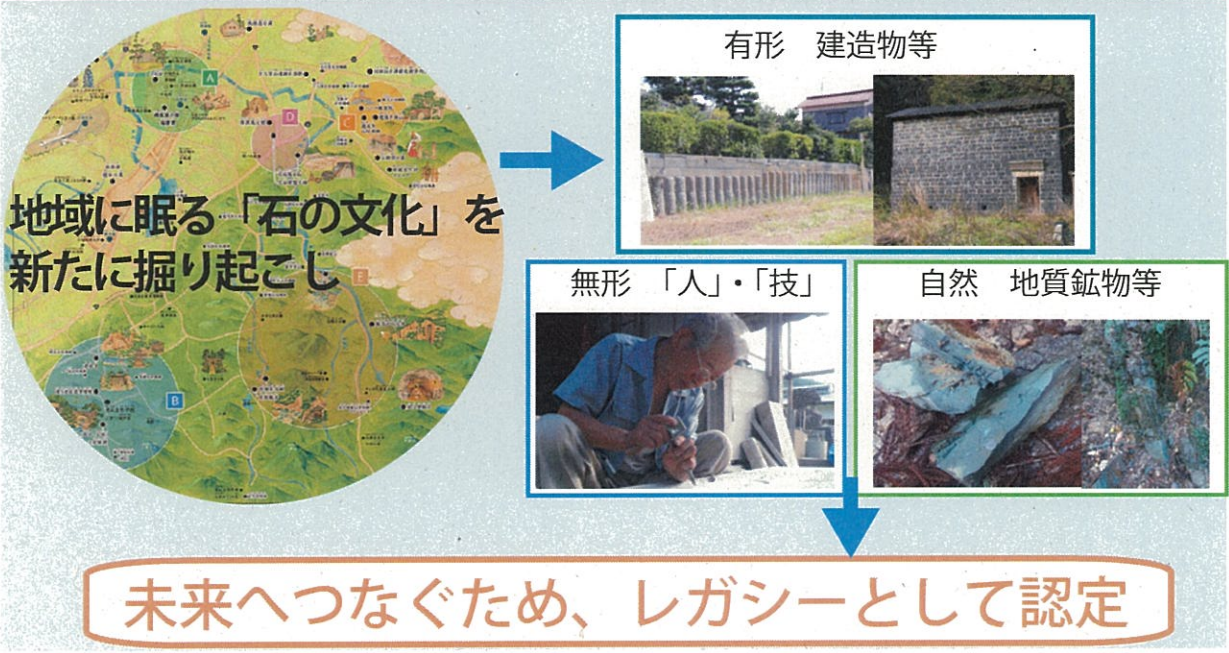
(保全対象となる地質鉱物)

第3条 条例第7条の規則で定めるものは、碧玉、オパール、水晶、メノウ（玉髓）のほか、学術的に価値のあるものとして市長が指定した鉱物とする。

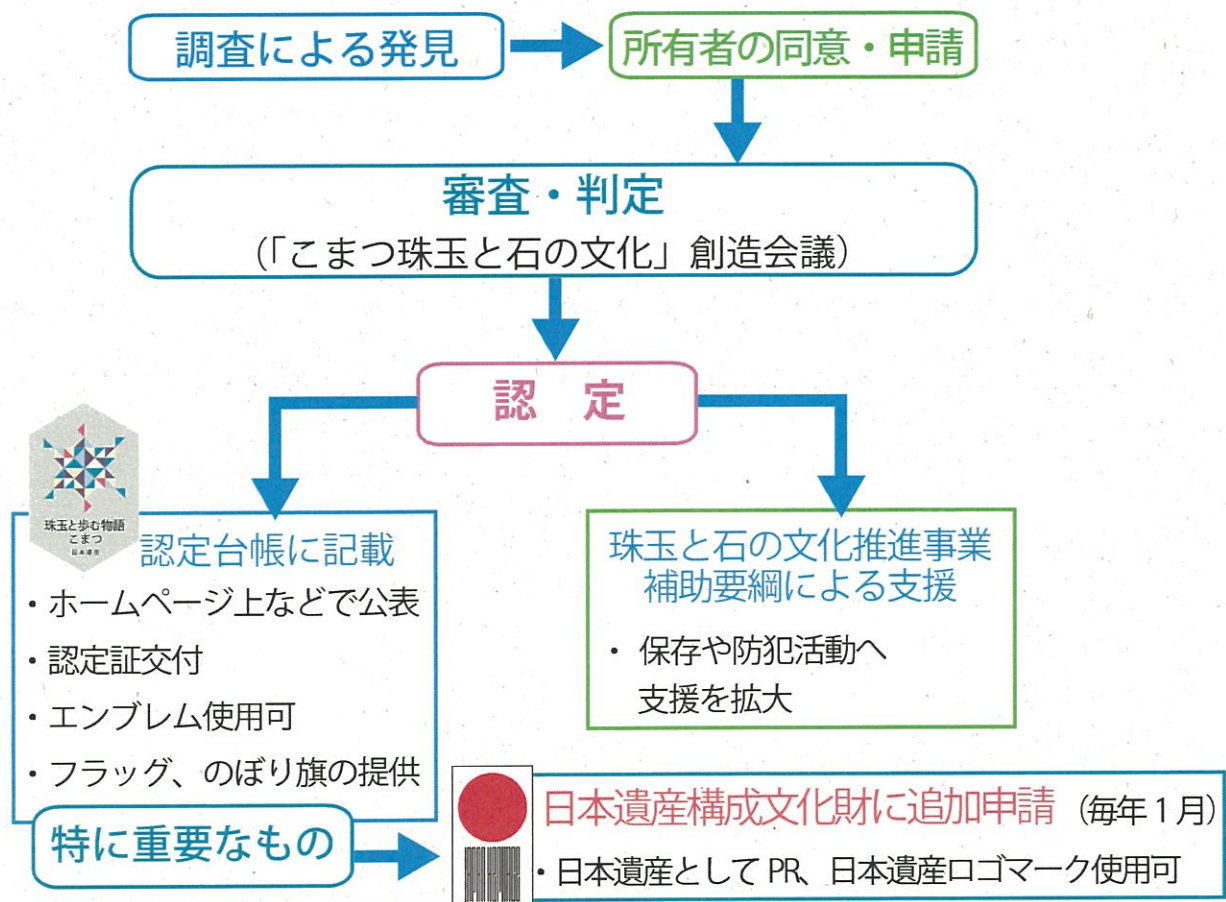
附 則

この規則は、条例の施行の日（平成29年5月1日）から施行する。

# 「石の文化」レガシー認定制度



## 【認定の流れ】



「石の文化」レガシーを未来へつなぎ、未来へ拓く  
《人づくり、生業創り、地域づくり》

小松市「石の文化」レガシー認定制度実施要綱をここに公表する。

平成 29 年 5 月 1 日

小松市長 和田 慎司

小松市「石の文化」レガシー認定制度実施要綱

(目的)

第 1 条 この要綱は、「石の文化」を守り未来へつなぐとともに、新たな発見に努め、活用を図るため「石の文化」レガシーとして認定するものとし、日本遺産「珠玉と歩む物語」小松の魅力向上に資することを目的とする。

(認定対象)

第 2 条 「石の文化」レガシー認定の対象は、次に掲げるものとする。

- (1) 工芸技術その他の無形の文化的所産で「石の文化」にとって欠かせないもの。
- (2) 建造物等その他の有形の文化的所産及び遺跡で「石の文化」にとって欠かせないもの。
- (3) 自然に産出する地質鉱物等で「石の文化」にとって欠かせないもの。

(申請者)

第 3 条 「石の文化」レガシー認定を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、次の各号に該当する者とする。

- (1) 「石の文化」にかかる工芸技術その他無形の文化的所産の保持者又は保持団体（無形文化財を保持するものが主たる構成員となっている団体で代表者の定めのあるものをいう）。
- (2) 「石の文化」の所在する建造物等の所有者又は占有者及び管理団体
- (3) 地質鉱物の存する土地の所有者又は占有者及び管理団体

(認定の申請)

第 4 条 申請者は、「石の文化」レガシー認定申請書（様式第 1 号）を市長に提出しなければならない。

(審査)

第 5 条 「石の文化」レガシー認定の審査は、「こまつ珠玉と石の文化」創造会議（以下「創造会議」という。）で行う。

(認定)

第6条 第4条第1項の規定による申請があったときは、創造会議において審査を行い、認定の可否を決定するものとする。

- 2 認定の可否は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは座長の決するところによる。
- 3 市長は、認定した申請者（以下「認定事業者」という。）に対し、「石の文化」レガシー認定証（様式第2号。以下「認定証」という。）を交付するものとする。

(表示等)

第7条 認定を受けた「石の文化」レガシーは、「石の文化」レガシー認定台帳に記載され、公表されるものとする。

- 2 認定者は、珠玉と石の文化推進事業補助金の交付対象となる。
- 3 認定者は、「珠玉と歩む物語」エンブレム（以下「エンブレム」という）を使用することができる。
- 4 市長は、認定者に対しエンブレムフラッグ及びのぼり旗を提供することができる。
- 5 エンブレムの取り扱いについては（一社）こまつ観光物産ネットワークが定める「使用の手引き」に準じる。

(認定者の責務)

第8条 認定者は、市が行う「石の文化」の展示・公開に協力するよう努めなければならない。

- 2 認定者は、認定時の申請書等の内容に変更（軽微な変更を除く。）が生じる場合には、「石の文化」レガシー認定変更届出書（様式3号）を市長に提出しなければならない。

(認定の取り消し)

第9条 市長は、「石の文化」レガシー認定を受けている建造物等及び地質鉱物が、滅失した場合、当該建造物等及び地質鉱物の「石の文化」レガシーの認定を取り消すものとする。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この告示は、平成29年5月1日から施行する。

## 小松市「珠玉と歩む物語」保護条例

小松の人々は、弥生時代の碧玉の玉づくりを始まりとして2300年にわたり、金や銅の鉱石、メノウ、オパール、水晶、碧玉の宝石群、良質の凝灰岩石材、九谷焼の陶石等の石の資源の価値を見出し、時代のニーズに応じて、高度な加工技術を磨き上げ、人・モノ・技術が交流する豊かな石の文化を築き上げてきた。私たちは、これら石の文化を市民共有の財産として大切に守り、未来へ継承するため、この条例を制定する。

### (趣旨)

第1条 この条例は、石の文化を適切に保護し、及び次世代に継承するため、基本理念、それぞれが担う役割、施策等に関し必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この条例において、「石の文化」とは、「珠玉と歩む物語・小松」として日本遺産に認定されたストーリーに記載された有形及び無形の様々な文化財群を総称している。

### (基本理念)

第3条 石の文化の保護及び継承の理念（以下「基本理念」という。）は、次のとおりとする。

- (1) かけがえのないふるさと小松固有のものであることを認識して行われるものであること。
- (2) 自然その他のふるさと小松の地域資源の保護・継承と合わせて行われるものであること。
- (3) 教育を通じ、未来へつなぐ子供たちの理解及び共感を促進しつつ行われるものであること。
- (4) 産業、観光、交流等の施策との連携を図り、市民等（市民及び市内への来訪者をいう。以下同じ。）が学ぶ機会を充実させつつ行われるものであること。
- (5) 市民、行政等それぞれが連携協力して実施されるものであること。
- (6) 積極的な情報発信を図ることにより、地域の振興につながる活用を図りつつ行われるものであること。

### (市の責務)

第4条 市は、基本理念に基づき、石の文化の保護・継承のために必要な施策を講じるものとする。

(市民等の責務)

第5条 市民等は、基本理念を十分に踏まえ、石の文化への理解及び関心を深め、並びにその保護に積極的に協力するよう努めるものとする。

(建造物等の保護)

第6条 石の文化に係る建造物等（建造物その他の有体物であつて規則で定めるものをいう。以下「建造物等」という。）の所有者及び占有者は、当該所有又は占有に係る建造物等の保護を図るよう努めるものとする。

(地質鉱物の保全)

第7条 土地の所有者及び占有者は、その所有又は占有に係る土地に存する地質鉱物（地質及び鉱物であつて規則で定めるものに限る。以下「地質鉱物」という。）の保全に努めるものとする。

(保護等のための指示等)

第8条 市長は、建造物等にき損、損傷又は消失のおそれがあると認めるときは、当該建造物等の所有者又は占有者にその防止のため必要な措置を講じるよう求めることができる。この場合において、市長は必要があると認めるときは、その支援を行うことができる。

2 前項の規定は、地質鉱物が市民等により不法に持ち出されるおそれがあると認めるときに準用する。

3 市長は、次に掲げる事実が発生したことを知ったときは、告発その他の必要な措置を講じることができる。

(1) 建造物等のき損、損傷又は消失が故意に行われたとき。

(2) 地質鉱物が不法に持ち出されたとき。

(3) その他石の文化の保護・継承に対し支障を生じる重大な違法行為が発生したとき。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この条例は、平成29年5月1日から施行する。



平成29年度 未来の教育課事業計画

<研究・研修>

事業	会合名	月日(曜)	時刻・会場	講師・内容等		
講座	一般教養	教育講演会	7月28日(金)	14:00~16:30 こまつドーム	坪田塾塾長 坪田 信貴 氏 「子どもの底力を圧倒的に引き出す5つのポイント」	
		地域理解講座	7月31日(月)	9:00~11:30 センター	埋蔵文化財センター所長 榎田 誠 氏	
	教科研修	教科指導(算数)	8月21日(月)	14:00~16:30 こまつドーム	文部科学省 教育課程調査官 笠井 健一 氏	
		教科指導(英語)	8月30日(水)	14:00~16:30 こまつドーム	文部科学省 教育課程調査官 直山 木綿子 氏	
	理科教育	科学実験実習講座	7月25日(火)	14:00~16:30 センター	JAXAからの講師	
		プログラミング講座	8月 4日(金)	10:00~12:00 サイエンスヒルズ	情報インストラクター, ヒルズ講師	
児童生徒理解	児童生徒理解講座	8月10日(木)	14:00~16:30 第一コミ	広島文化学園大学 准教授 大野呂 浩志 氏		
研究・研修	教科研究会	中学校 国語科	年間6回程度 (教育会と連携)	15:00~16:30 センター等	<ul style="list-style-type: none"> <li>示範授業の参観(モデルとなる授業を参観)</li> <li>模擬授業(日常で使えるモデルユニットの構築、実践)</li> <li>基礎学習、授業モデルの構築</li> <li>地域学習の資料作成</li> </ul>	
		中学校 数学科				
		中学校 英語科				
		小学校・中学校 理科				<ul style="list-style-type: none"> <li>サイエンスアドベンチャー企画・運営</li> <li>示範授業の参観(モデルとなる授業を参観する)</li> <li>科学の甲子園ジュニアに向けての方策提供(ヒルズと連携)</li> <li>授業公開</li> </ul>
		特別の教科 道徳				<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと道徳資料作成</li> </ul>
		小学校・中学校 特別支援教育				<ul style="list-style-type: none"> <li>示範授業の参観(モデルとなる授業を参観)</li> <li>模擬授業(日常で使えるモデルユニットの構築、実践)</li> <li>授業の公開</li> </ul>
	堅若 業 成 事 中	小学校・中学校 パワーアップゼミ	年間6回	15:50~16:40 センター又は学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業力向上、学級経営、保護者対応等日々の授業にすぐに役立つ講座</li> <li>講師は、外部講師、ベテラン教員、スーパーバイザー等</li> </ul>	

<理科教育>

理科教育事業	理科教育支援事業	サイエンスワールドⅠ	6月24日(土)	13:00~16:00 いしかわ子ども 交流センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中高等学校教員、高校生、県内大学生、企業等を講師として10程度のブースを作り、理科の観察・実験、物づくりなどの体験を通して、理科への興味関心を深める。</li> </ul>
		サイエンスワールドⅡ (ヒルズ主催)	未定	13:00~16:00 サイエンスヒルズ	
		サイエンスアドベンチャー	12月 2日(土)	13:00~16:00 サイエンスヒルズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生ものづくりコンテスト(「科学の甲子園ジュニア」関連)</li> <li>湯浅、中山賞表彰、研究発表会</li> </ul>
		宇宙の学校	年4回(土) 7/15・9/2 11/18・2/3	10:00~12:00 サイエンスヒルズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:小学校1年~3年とその保護者</li> <li>市内小中学校理科教員がKU-MA(子ども・宇宙・未来の会)のスクーリングプログラムを行う。</li> </ul>
		宇宙の学校指導者研修会	5月27日(土)	9:00~12:00 教育研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>KU-MA(子ども・宇宙・未来の会)の講師による講習</li> </ul>
		理科教育担当者会	9月7日(木)14日(木)	サイエンスヒルズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学作品展の搬入・搬出</li> </ul>
		理科支援員全校配置	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校5年生を中心とした理科授業の支援</li> </ul>
		(理科指導員派遣)	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験などの補助・支援</li> <li>器具貸し出し、相談</li> </ul>

<情報教育>

情報教育事業	情報教育支援事業	情報教育推進	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進校:戸城中にインストラクターを派遣(週1回)</li> <li>指導・助言</li> <li>学校情報化認定システムの実施</li> </ul>
		ICT活用教育推進	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCの導入, ICTトラブル対応, タブレットの貸し出し</li> </ul>
		ICT教育支援	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>インストラクター訪問による情報教育訪問相談, 授業支援</li> </ul>
		情報教育担当者会	4月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラル教育の推進・充実, 事務連絡</li> </ul>

<その他>

生徒指導	主体的児童生徒育成事業	小松市中学生サミット実行委員会	年間3回 6/6(火) 7/27(木) 10/13(金)	市内中学校	・各中学校代表生徒 ・兵庫県立大学 准教授 竹内和雄准 氏, 学生
		小松市中学生サミット	10月14日(土)	13:00~16:30 市内中学校	
		小松市中学生サミット出前授業	9月25~27日	市内全中学校	・大学生による出前授業

平成29年度 教育研究センター事業計画

<教育相談>

	事業・会合名	月日(曜)	時刻 会場	講師・内容 等
教育相談部門	教育相談	通年		来所相談・電話相談・訪問相談 等
	心の相談員配置	通年		・4月 4日 心の相談員準備会 ・8月10日 心の相談員研修会
	「子育て講座」の企画・運営	年4回		・市P連母親委員会と共催 ・多賀クリニック医院長 多賀 千之 氏
	小中学校教育相談事例検討会	年間10回 (10校)	各学校	・学校に精神科医、大学教員、臨床心理士等専門家を派遣 ・校内の事例についての研修、支援の方策の構築 ・校内支援体制の強化
	土曜相談	年間12回	教育研究センター	教育研究センター相談員による相談
	土曜専門教育相談	年10回	センター	大学教授・精神科医・臨床心理士・特別支援教育専門家による相談
	教育支援センター(ふれあい教室)の運営	通年	ふれあい教室	不登校児童生徒のための学びの場
	教育相談親の会の企画・運営	年3回	ふれあい教室	不登校児童生徒の保護者の情報交換会
	ふれあい学習支援	通年	ふれあい教室	学生ボランティアによる学習支援

平成  
29年

# 平成29～31年度 「小松の教育プロジェクト」推進会議

未来の創り手となるために必要な**資質・能力**を確実に育成する学校教育

資質・能力の育成→授業の質的改革

組織的な体制→人材の育成

## 「小松の教育プロジェクト」推進会議

### A 組織的なマネジメント

#### 学校評価1を生かした組織的マネジメント

- ・教育内容の質の向上に向けて実態や調査等を踏まえたPDCAサイクル（小松市共通重点目標、共通アンケート項目）

・学校の良さや努力が見える発信

#### 学校評価2を生かした人材育成

- ・管理職・主任層の役割意識の向上
- ・中堅・若手リーダー育成

### B 授業の質的改革

#### 授業力の向上

- ・授業設計力（CT案）→（CT記録）の推進
- ・子供を軸とした整理会の推進（子供から学ぶ）
- ・校内外の研究会の交流

#### 学力の定着

- ・市内学力の実態把握
- ・実態に応じた共通実践

### C 主体的な児童生徒活動

#### 児童生徒理解

- ・不登校児童生徒の支援体制
- ・児童生徒理解の促進

#### 主体的児童生徒活動の活性化

- ・自治意識の向上
- ・市全体の課題を解決するための体制づくり
- ・小中連携した取り組み

31年

「小松の教育プロジェクト」方針、事業・研究・研修の立案

試行・検討

新学習指導要領実施

平成29年「小松の教育プロジェクト」推進会議委員

			A 組織的な マネジメント	B 授業改革	C 主体的な 児童生徒活動	
全体会推進委員	学識経験者	有識者	浅野良一 (兵庫教育大学)	秋田喜代美 (東京大学大学院)	原田克巳 (金沢大学)	
				加藤隆弘 (金沢大学)		
		※(アドバイザー)	村井万寿夫 (星陵大学)	稲葉茂 (神奈川県相模原教育センター教育指導員) 藤森慎一 (元野々市市教育センター所長)	秋山典子 (粟津神経サナトリウム理事 長) 竹内和雄 (兵庫県立大学) 西出雅美 (いじめ対応アドバイザー) 木下靖彦 (SSW)	
	学校関係者	退職教員 部会コーディネーター	坂谷敦子	元雄紀子	長谷部安子	
		(小) 校長	1	1		
		(中) 校長	1		1	
	事務局	教育長	石黒和彦			
		教育次長	山本裕・道端祐一郎			
		課長	吉田 明生・廣田恵子			
		指導主事	新名(総括)	中谷(参事)	笠巻	
		〃	宇野	高田	吉田	
		〃		川江	武田	

部会推進委員	(小) 教頭	1		1
	(中) 教頭	1		
	(小) 教務		小中どちらか 1名	
	(中) 教務			
	(小) 研究		1	
	(中) 研究		1	
	(小) 生徒指導			2
	(中) 生徒指導			2
		2	3	5

※ 全体会は年3回開催、部会は年2回開催

※ 必要に応じて全体会や部会にアドバイザーを招聘し、助言を求める。

※ 必要に応じて委員は、学校等の視察、視察後の助言を行う事とする。

## 《図書館報告事項》

### 新企画報告

☆ 小松高生による「ビブリオバトル風読み聞かせ」 3/29(水) 14:30～ …45名参加  
ビブリオバトルを取り入れた、聴き手も参加型の新しい絵本の読み聞かせ。

当日はテレジア幼稚園の園児が参加。

始めに大型絵本「ひつじパン」の読み聞かせをしてから(写真左), 袋に入った絵本のお薦め  
どころを高校生がビブリオ風にお話した。園児の挙手(写真右)によって, 1回目は「ねこが  
ほしい」, 2回目は「もうぬげない」が読まれた。



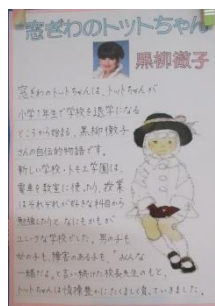
### テーマ展示

#### ☆ 「学校司書 POP 展」

学校司書が描いたおすすめ本の POP 展。  
インパクトのある, おすすめのポイントの  
効いた POP が並んだ。

#### ☆ 「ぼくもわたしも1年生」

4月は入学式。ピカピカの  
1年生関連の本がズラリ!



#### ☆ 「小松市美術作家協会寄贈本」

作家協会から寄贈された図書券で購入した美術書。  
「ニッポン美術たんけん」, 「西洋美術の歴史」など。



番号	校名		1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
			人数	国35	人数	国35	人数	国35	人数	国35	人数	国40	人数	国40	人数	学級
1	芦城小学校		90	3	91	3	82	3	95	3	71	2	88	3	517	17
	特	知障	2		2		1				2		1		8	1
	特	自情			1				2				1		4	1
	特	肢体					1								1	1
2	稚松小学校		74	3	69	2	75	3	74	3	69	2	62	2	423	13
	特	知障							1		1				2	1
	特	自情	1						1				1		3	1
新	特	弱視	1												1	1
3	安宅小学校		53	2	56	2	55	2	73	3	66	2	47	2	350	12
	特	知障	1		1		1						2		5	1
	特	自情	1				1				1				3	1
4	大丸小学校		17	1	14	1	27	1	30	1	23	1	31	1	142	6
5	荒屋小学校		25	1	23	1	23	1	20	1	28	1	20	1	139	6
	特	自情									1				1	1
6	第一小学校		126	4	92	3	118	4	101	3	111	3	117	3	665	19
	特	知障			1		1								2	1
7	苗代小学校		96	3	93	3	94	3	102	3	111	3	85	3	581	18
	特	知障	2		2		2		1		2				9	2
	特	自情					1		1				1		3	1
8	蓮代寺小学校		18	1	28	1	17	1	19	1	16	1	24	1	122	6
	特	知障			1										1	1
9	向本折小学校		30	1	34	1	29	1	43	2	29	1	26	1	191	7
	特	知障					2								2	1
	特	自情					1								1	1
10	今江小学校		52	2	58	2	54	2	58	2	52	2	47	2	321	12
	特	知障			1										1	1
新	特	自情	2												2	1
11	串小学校		53	2	43	2	54	2	54	2	48	2	49	2	301	12
	特	知障			1		1								2	1
復	特	自情									1				1	1
12	日末小学校		13	1	19	1	21	1	12	1	14	1	11	1	90	6
13	符津小学校		41	2	37	2	36	2	54	2	36	1	38	1	242	8
	特	知障					1		1						2	1
	特	自情											1		1	1
14	栗津小学校		16	1	18	1	31	1	25	1	25	1	24	1	139	6
	特	知障			3						1		1		5	1
15	木場小学校		17	1	14	1	10	1	12	1	11	1	13	1	77	6
新	特	知障									1				1	1
16	矢田野小学校		46	2	47	2	41	2	47	2	60	2	44	2	285	12
	特	知障							1						1	1
	特	自情					2								2	1
	特	肢体					1								1	1
17	月津小学校		35	1	25	1	31	1	36	2	28	1	36	1	191	6
	特	知障							1				1		2	1
18	那谷小学校		7	1	4	1	8	0	4	1	7	0	4	1	34	4
19	国府小学校		56	2	47	2	54	2	65	2	83	3	58	2	363	13
	特	自情							1				1		2	1
20	中海小学校		15	1	26	1	20	1	17	1	24	1	25	1	127	6
新	特	知障							1						1	1
21	金野小学校		5	1	4	1	9	0	11	1	12	1	6	1	47	5
	特	自情											1		1	1
22	西尾小学校		5	1	6	1	6	0	3	1	4	0	9	1	33	4
23	波佐谷小学校		7	1	3	1	7	0	12	1	12	1	11	1	52	5
24	東陵小学校		22	1	31	1	23	1	24	1	36	1	34	1	170	6
新	特	知障	1												1	1
	特	自情									1				1	1
25	能美小学校		41	2	36	2	54	2	39	2	39	1	47	2	256	9
	特	知障	2								1				3	1
	特	自情											2		2	1
	合計		973	41	931	39	995	37	1,041	43	1,027	35	969	38	5,936	259
			(40)	(2)	(-63)	(-2)	(-51)	(-3)	(8)	(1)	(58)	(-1)	(-24)	(2)	(-32)	(-7)
			通常学級 233(-1)					特別支援学級 26(-6)								

※( )内は昨年度からの増減の人数

※表中の学級数は以下の基準によるもの

1年は国の基準による35人学級、2年～4年は県の基準による35人学級、5・6年は国の基準による40人学級

※新は新規 5学級

※復は復活 1学級

番号	へき地級	校名		1年		2年		3年		計	
				人数	県35	人数	国40	人数	国40	人数	学級
1		芦城中学校		143	5	170	5	147	4	460	14
		特	知障					2		2	1
復		特	自情	1						1	1
2		丸内中学校		107	4	102	3	103	3	312	10
		特	知障	1		2				3	1
		特	自情			1		1		2	1
3		松陽中学校		195	6	227	6	193	5	615	17
復		特	知障	1		1				2	1
		特	自情	1		3		1		5	1
4		御幸中学校		61	2	65	2	79	2	205	6
		特	知障					1		1	1
新		特	自情	1						1	1
5		南部中学校		177	6	214	6	186	5	577	17
		特	知障	1		1		2		4	1
		特	自情	2		2		1		5	1
		特	肢体	1				1		2	1
6		国府中学校		72	3	67	2	70	2	209	7
		特	知障			1		1		2	1
		特	自情	1		1				2	1
7		中海中学校		43	2	49	2	48	2	140	6
		特	知障					1		1	1
		特	自情	1				1		2	1
新		特	肢体	1						1	1
8		松東中学校		23	1	35	1	24	1	82	3
9		安宅中学校		67	2	54	2	69	2	190	6
		特	知障	1		1		1		3	1
		特	自情	1				1		2	1
10		板津中学校		89	3	88	3	101	3	278	9
		特	知障	1		1				2	1
		合計		992	34	1,085	32	1,034	29	3,111	114

(-94) (0) (56) (3) (-110) (-3) (-148) (2)

通常学級 95 (0)

特別支援学級 19(2)

※()内は昨年度からの増減の人数

※表中の学級数は以下の基準によるもの

1年は県の基準による35人学級, 2・3年は国の基準による40人学級

※新は新規 2学級

※復は復活 2学級



3か年合格状況 H26～H28

国公立大学	H26	H27	H28
金沢大学	1	2	
富山大学	5	3	5
福井大学			
筑波大学			
静岡大学			
新潟大学	3		
信州大学	1		
東京芸術大学			
宇都宮大学		1	
長岡造形大学	2		
都留文科大学	3		2
新潟県立大学	1		
石川県立大学	1		
石川県立看護大学		2	
金沢美術工芸大学	4	2	2
富山県立大学	1		2
福井県立大学	1		2
愛知県立芸術大学	1	1	1
静岡文化芸術大学	1	1	
高崎経済大学	1	1	
広島市立大学		1	1
福知山公立大学			1
計	25	14	16

私立大学（北信越地区）	H26	H27	H28
金沢工業大学	15	7	17
金沢学院大学	12	12	4
金沢星稜大学	10	15	14
北陸大学	3	5	14
北陸学院大学		1	5
金城大学	21	12	13
金沢医科大学(看護)			3
福井工業大学	10	1	13
仁愛大学	5	2	1
新潟医療福祉大学			1
長岡大学			1
その他		2	
計	76	57	86

私立大学（関東地区）	H26	H27	H28
専修大学	1		
日本大学	3		1
東洋大学	2		
亜細亜大学	1		1
駒澤大学	1		1
帝京大学	1		1
拓殖大学			
洗足学園大学	2		
東海大学	2	4	1
聖徳大学			
明海大学		1	
東京音楽大	1	1	
昭和音楽大学	1		2
国立音楽大学			1
日本女子体育大学			
日本体育大学			
神奈川大学	1	1	
女子美術大学			2
関東学院大学			1
明治学院大学			1
成蹊大学			1
その他		12	6
計	16	19	19

私立大学（計）	H26	H27	H28
計	125	104	143

私立大学（東海地区）	H26	H27	H28
岐阜女子大学	2		
岐阜聖徳学園	2		
愛知産業大学			
愛知みずほ大学			
愛知学院大学		2	3
日本福祉大学	1	1	
中京大学	1	3	
愛知大学		1	
南山大学			
名古屋外国語大学	1		
名古屋芸術大学			1
金城学院大学			
名古屋商科大学			
名古屋外国語大学		1	
名古屋女子大学			
東海学園大学	1		
その他	4	5	
計	12	13	4

私立大学（近畿地区）	H26	H27	H28
京都産業大学	3	2	7
立命館大学		1	
同志社大学		1	1
同志社女子大学			
京都女子大学			
京都外語大学	1		
京都精華大学			1
京都光華女子大学	2		
京都学園大学			
京都造形芸術大学		1	
京都橘大学	4	2	6
佛教大学	2		6
龍谷大学	2	1	3
武庫川女子大学	2	1	1
関西外国語大学		1	
大阪学院大学	1	1	
大阪産業大学	1		
関西大学			1
近畿大学			1
神戸学院大学			1
大阪芸術大学			
桃山学院大学			1
その他	3	4	5
計	21	15	34

短期大学	H26	H27	H28
金城大学短期大学部	13	13	15
北陸学院短期大学	5		4
金沢学院短期大学		1	
福井医療短期大学			
小松短期大学	5	7	5
星稜女子短期大学	4	3	2
川崎医療短期大学		1	
昭和音楽大学短期大学部	0	1	
関西外国語大学短期大学部			
武庫川女子大学短期大学部			
龍谷大学短期大学部		1	
その他	5	4	4
計	32	31	30

専門学校	H26	H27	H28
金沢医療センター付属金沢看護学校	2	2	5
金沢看護専門学校	5	1	3
こまつ看護専門学校	7	2	15
加賀看護学校	8		8
富山病院附属看護専門学校			
福井歯科専門学校	1		
石川県歯科衛生士専門学校		3	
京都保健衛生専門学校			2
石川県立保育専門学園	1	1	
金沢リハビリテーションアカデミー	2	1	
金沢調理師専門学校	2		
金沢文化服装学院	2		
石川理容美容専門学校	3		7
金沢科学技術専門学校	1	1	1
国際ペット専門学校	1	1	3
金沢福祉専門学校		1	
金沢美容専門学校		4	
金沢製菓調理専門学校			2
日本航空大学校			1
石川県九谷焼技術研修所			1
スーパースイーツ製菓専門学校			1
その他	29	19	13
計	64	36	62

就 職	H26	H27	H28
計	14	12	9

その他	留学	未定	浪人
H28	0	0	5



## 平成 29 年度 青少年育成課の主な施策の展開について

小松市教育委員会教育理念「智仁勇 あすのこまつを創る人」に基づき、ふるさとに誇りを持ち、未来を拓いていくたくましい子どもたちの育成を目指す。

### 放課後児童クラブの運営

クラブ・学校・青少年育成課の連携を強化し、情報の共有化を図ることで、課題解決につなげていく。

#### 【H28実績】

##### ☆質の向上へ向けた取り組み

- ・全 35 クラブ実地調査実施(半期毎)
- ・運営基準に基づく自己評価の実施と公表(県内初)
- ・指導監査の実施(犬丸・第一・符津)
- ・符津児童クラブ符津教室の開設

##### ☆開かれたクラブ運営へ向けた取り組み

- ・ホームページのリニューアルとホームページ上にご意見窓口の設置

#### ★H29 課題

- ①H28 年度実績に対する実地調査と自己評価の公表
- ②適正な予算管理の徹底(監査結果を踏まえた指導、運営基準・経理指針等関係法令の遵守)
- ③研修の充実(事務局主催研修の開催・視察研修の企画)
- ④指定管理施設 8 箇所の更新(方向性の整理と事務手続き)

### 子供歌舞伎「勸進帳」上演

#### ○応募状況

- ・役者 17 名 ⇒ 後見に小学生 2 名が新規加入
  - ・長唄・囃子方 18 名 ⇒ 出演者の一部を入れ替え総勢38名が出演
- ※長唄・囃子方は、こまつ歌舞伎未来塾「邦楽教室」塾生も出演。

#### ☆今後の予定

4/15(土)	衣裳試着
4/22(土)~4/30(日)	総稽古(稚松小・うらら)
5/3(水・祝)	リハーサル
5/4(木・祝)5(金・祝)	本番千秋楽
5/20(土)	あとべんとう会



第19回全国子供歌舞伎フェスティバルin小松 子供歌舞伎「勸進帳」出演者(後者)

#### ★H29 課題

- ①円滑な事業運営(事務全般の標準化・事業開始時期の見直し他)
- ②横断的な協力体制の確立
- ③出演者の確保
- ④指導者の負担軽減に向けた取り組み

### 青少年健全育成大会

学校・家庭・青少年健全育成推進団体との連携を強化し、アンケート調査の結果も踏まえ、大会内容の更なる充実を図る。

#### 【H28実績】

- ・オープニングアトラクション(市立高校吹奏楽部・合唱部)
- ・スマイルハート賞 (H28年度:個人 1 名, 6 団体)
- ・社会教育賞(H28年度:個人 2 名, 3 団体)
- ・基調講演(H28:野口健氏「あきらめないこと それが冒険だ」)



#### ★H29 課題

- ①アトラクション・基調講演講師の早期決定
- ②歴代受賞者の紹介(次第・会場)と大会案内通知の発送
- ③ボランティアスタッフ制の導入
- ④集客に向けた多角的視点での企画運営

### 平成 30 年成人式

新成人の代表による実行委員会を組織し、企画・運営にあたる。新成人のみならず保護者や地域も含め、市全体で成人式の本来の目的を今一度確認し発信できるような式の開催を目指す。

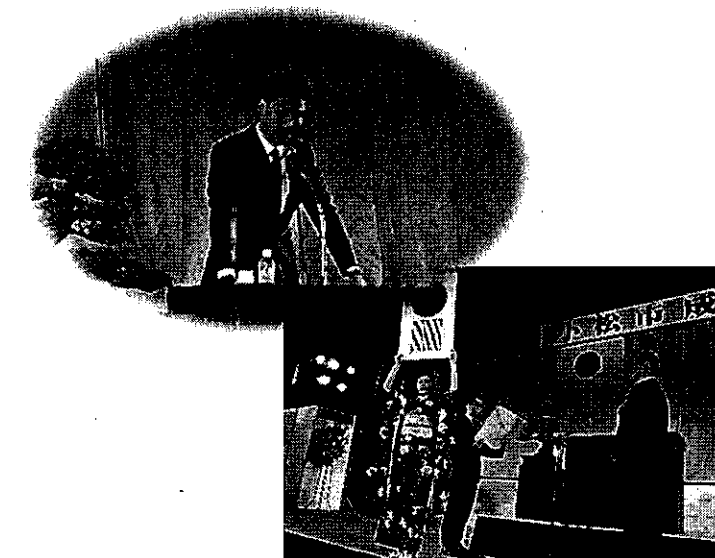
#### 【H28実績】

- ・実行委員の募集方法変更(チラシを全世帯へ配布)
- ・実行委員任命式開催(テレビこまつ・市HP・各メディアで発信)
- ・アトラクションの内容変更(小松市出身プロサッカー選手 豊田陽平氏によるメッセージ)
- ・目標を持った募金活動(空とこども絵本館の事前視察、寄贈品を提示した募金活動の実施)
- ・出席人数:新成人 995 人(90.7% 県内 2 位)/保護者約 1,000 人(例年約 500 人)



#### ★H29 課題

- ①実行委員会の在り方検討
- ②アトラクション内容の早期決定(事務局案)
- ③前年の意見を踏まえたブラッシュアップ
- ④地域参加の促進



## 平成29年度 サイエンスヒルズこまつ ひとつものづくり科学館 事業計画

H29テーマ 「月」「ロボット」「食」

### 【楽しむサイエンス】 科学への好奇心を生む場

特別企画 (春)	名探偵コナン リアル宝探し	3月18日～5月7日	近隣施設と連携した回遊型
〃 (夏)	見る！触れる！学べる！恐竜展(仮)	8月5日～8月27日	展示・体験
ミニ企画展(秋)	日本宇宙食展	日程調整中	日本宇宙食認定10年を機に開催する食関連イベント
〃 (冬)	「宇宙からの光」パネル展	日程調整中	国立天文台提供パネル展示
科学イベント	サイエンスフェスタ	12月9日	企業等の協力による科学体験
3Dスタジオ番組	『GRAVITATION』 3D	4月29日～3月31日	時間と空間をめぐる神秘的な旅から重力の秘密を学ぶ
〃	『Feel the Earth』	5月9日～3月31日	葉加瀬太郎の名曲とともに地球の美しさを感じる
〃	『いきものがたり』	7月15日～8月31日	地球上の生物多様性を学ぶ
〃	『SNOWFLAKE』	12月2日～2月28日	雪の結晶生成過程を学ぶ
観望会	スターウォッチング	年間18回	解説付7回 観望会のみ11回
科学講座	大人のためのサイエンスサロン	月1回(8月除く)	大人のみ対象の科学講座
科学体験	体験教室・サイエンスショー	週末・長期休暇	ものづくり、科学実験講座
〃	サイエンステーブル	週末随時	対話しながらの簡単科学体験
〃	スポット展示	3ヶ月毎	テーマを変えた小さな展示
サイエンスミッション リニューアル	ルルサイエンス	5月開始予定	ワンダーランドでのクイズ、科学館ガイド等

### 【学ぶサイエンス】 より深く科学を学ぶ場

学習(小中学校)	学習プログラムの充実	通年	天体学習、科学実験講座他
学習(小学校)	プログラミング体験講座	11月～2月	レゴロボットを用いたプログラミング体験
科学講座	プロに学ぶサイエンス講座	内容・日程調整中	最先端科学を講演・展示等で学ぶ
クラブ活動	日本宇宙少年団(YAC)	通年 月1～2回	第4期生募集 小学4～6年生
〃	こまつサイエンスクラブ	通年 月1回	小学4～6年生 定員40名
〃	ヒルズ科学クラブ	通年 週1回	小学5～6年生 定員20名

### 【挑むサイエンス】 未来の科学者をめざす場

コンテスト	レゴヒルズカップ	4月1日、9月3日	ロボットプログラミングの活用
大会等参加支援	小中学生自由研究 相談	夏 日程調整中	小中学生の科学研究相談
〃	科学の甲子園ジュニア 参加支援	7月	大会課題の研究と対策

平成29年度教育委員会主要事業・業務 (案)

時期	教育庶務課	青少年育成課	学校教育課	未来の教育課	サイエンスヒルズ	図書館 (南は南部, 市は市史編纂)	市立高校	
4月	上旬	校長協議会 (4/7)	児童クラブ実地調査(128年度事業) 児童クラブ運営補助金実績報告(国) 土曜学習補助金取組(県)		土曜相談	春の特別企画(～5/7) 4/1 スターウォッチング 4/1 レゴヒルズカップ	入學式(10日)	
	中旬		4/11 学校体育施設管理指導委員会	全国・県学力調査	中学生サミット教員研修			
	下旬		子供歌舞伎合同練習			『GRAVOTATION』上映(～3月)	4/22 折本講座(南)	
5月	上旬		5/3 フェスリハーサル 5/4,5 フェス開催		土曜相談	RuRuサイエンス開始 『Feel the Earth』上映(～3月)	5/3 藤見の会	
	中旬		成人式実行委員募集開始 育成センター運営協議会 5/9 育成員第1回研修会 5/16 小松っ子総会	教育扶助費認定、給食役員会	土曜専門相談			
	下旬	芝生フィールド整備 (5月下旬～7月)	助産婦実行委員会あとべんとう会 青少年健全育成大会企画・調整		宇宙の学校指導者研修			
6月	上旬	・体育館講堂床改修 (月津小、丸内中 6～9月) ・体育館トイレ改修 (丸内中、安宅中 6～9月)	児童クラブ指定管理料の設定 (更新8クラブ) 児童クラブ指定管理者選定の 方向性確認	グローバル・セミナール 中学校(6～2月) 学校給食調理業務事業実施指名 通知	土曜相談 中学生サミット実行委員会		修学旅行(6～10日) (シンガポール・マレーシ ア)	
	中旬		児童クラブ自己評価HP公開	巡回教育相談	土曜専門相談 「小松の教育プロジェクト」推 進会議	6/17 古文書入門講座①		
	下旬				サイエンスワールド			
7月	上旬	芝生苗植え (那谷小)	放課後児童クラブ指導員研修①	英語チャレンジテスト	土曜相談 宇宙の学校	自由研究相談(～7月) 七夕「星と音楽」イベント	・市史講座①(市)	
	中旬	・校舎給水管改修 (中海中 7～9月)	・社会教育賞推薦依頼 7/6 育成員第2回研修会	いじめ防止対策連絡協議会	土曜専門相談	『いきものがたり』上映(～8月)	7/16 朗読講座①	GTEC (英語力試験)
	下旬	安全衛生委員会職場巡視		学校給食調理業務委託審査会 (130年度委託契約業者決定)	科学実験講座 教育講演会 中学生サミット実行委員会 地域理解講座	7/25 スターウォッチング	・科学あそび(南) ・7/29 のまりんの紙芝居 ・7/29 ナイトミュージックライブ	・第一体育館トイレ改修工事 (工期:7月～8月) ・校舎外壁改修工事 (工期:7月～8月)
8月	上旬	教育功労賞表彰候補者推薦締 切	児童クラブ指定管理料等作成 児童クラブ指定管理者募集開始 土曜学習補助金交付申請	グローバル・セミナール 小学校(8～9月) 食物アレルギー対応委員会・会議	土曜相談 プログラミング講座	夏の特展(8/5～27) 月の不思議展(～10月)	8/6 科学あそび (図書館まつり)	
	中旬		愛の灯募金(社明)	調理員向け、事業者・市合同説明 会	児童理解講座		8/13 古文書入門講座② 8/20 朗読講座②	
	下旬	校長協議会(8/28)	ふれあい教室合宿	学力向上連絡協議会 市内小中給食室改修工事・備品 整備	夏季教職員研修(算数) 夏季教職員研修(英語)		・ピリオパトル高校生大会 ・小松高生による ピリオパトル風読み聞かせ	English Summer Camp (21～23日)
9月	上旬		グッドマナーキャンペーン		土曜相談 理科教育担当者会(科学作品展 サイエンスヒルズ) 宇宙の学校	9/3 レゴヒルズカップ		文化祭(5日)、体育祭(6日)
	中旬	通学路合同点検(2校)	子供歌舞伎出演者募集開始		土曜専門相談			
	下旬	学校フローラルコンテスト	放課後児童クラブ指導員研修② 児童クラブ補助金交付申請 成人式実行委員会任命式	かけはし文芸コンクール	中学生サミット出前授業(市内 中学校10校、小学校2校)		9/24 朗読講座③	
10月	上旬	功労3賞選考委員会	スマイルハート賞推薦依頼 全学童実地調査(上半期)	どんどん音楽祭 就学時健診	土曜相談	10/4 スターウォッチング	10/9 古文書入門講座③	
	中旬	・プールろ過機更新 (国府小、中海小、進代寺小 9～11月)	人権リーフレット作成 放課後児童クラブ行政監査	就学時健診	土曜専門相談 中学生サミット実行委員会 中学生サミット		10/15 音さんぽ	
	下旬	・プール槽改修 (安宅小、能美小、東陵小 9～11月)	助産婦オーディション、結団式 児童クラブ理事会視察研修	就学時健診 巡回就学相談		10/28 スターウォッチング	10/29 朗読講座④ 10/29 森の図書館事業	
11月	上旬	・武道場屋根改修 (声城中 時期未定) ・グラウンド改修 (能美小 時期未定) ・防球ネット設置 (丸内中、松陽中 時期未定)	助産婦稽古開始	教育相談	土曜相談 宇宙の学校	小学校プログラミング体験講座(～2月)	・市史講座②(市)	教育ウィーク学校公開日(3日)
	中旬		放課後児童クラブ指導員研修③ 児童クラブ指定議案上程(一括)	教育相談	土曜専門相談 「小松の教育プロジェクト」推 進会議		・ピリオパトル中学生大会 ・11/19 細川律子おはなし会 ・11/19 朗読講座⑤	
	下旬		社会教育賞・スマイルハート 賞選考委員会	英語チャレンジテスト		11/25 スターウォッチング	11/23 朗読講座⑥(発表会)	
12月	上旬	教育功労賞表彰式 (12/1)		市学力調査	土曜相談 サイエンスアドベンチャー(小 学生ものづくりコンテスト、湯 浅山山麓祭典)	『SNOWFLAKE』上映(～2月) 12/9 サイエンスフェスタ	12/3 クリスマス会	ミュージックコンサート(卒業演 奏会)(3日)
	中旬		人権リーフレット作成 子供歌舞伎出演者募集開始 12月議会 児童クラブ指定の議決		土曜専門相談			
	下旬		児童クラブ運営補助金変更申請 土曜学習補助金変更申請手続	かけはし文芸コンクール		12/23 スターウォッチング クリスマス「星と音楽」イベント		GTEC (英語力試験)
1月	上旬	校長協議会(1/5)	1/7 成人式 助産婦練習開始	入学前教育扶助費受付開始	土曜相談		・本の福袋(本館・南)	卒業展示会(卒業式まで)
	中旬			食育フェスタ	土曜専門相談		1/14 絵本かるた	
	下旬		放課後児童クラブ指導員研修④	市学力調査 シェンシリーズ(食育・試食会)	小松市推進校実践報告会		1/28 絵本かるた(南)	
2月	上旬		2/11 青少年健全育成大会	奨学金審査会 勝木賞選考委員会	土曜相談 宇宙の学校			
	中旬			学校研究表彰 森山啓ジュニア文芸表彰	土曜専門相談	紙飛行機大会		
	下旬			勝木賞授与式 いじめ防止対策連絡協議会	「小松の教育プロジェクト」推 進会議	動力カー大会	古文書講座①(市)	
3月	上旬				土曜相談	3/2 スターウォッチング	古文書講座②(市)	卒業式(2日)
	中旬				土曜専門相談		古文書講座③(市)	
	下旬		土曜学習実績報告			周年イベント 3/31 スターウォッチング		
	小中学校関係係務・財務、施設 修繕	土曜学習(希望校区) 児童クラブ・学校との連携の会 (各クラブ年5回程度) 育成センターによる市内巡回 各青少年育成団体との会合 発達支援センターとのクラブ 定期巡回 (学期毎の巡回・月例会) 小松市要保護児童対策地域協議 会会議 ふれあい教室の運営 「心の相談員」配属業務	こまつチャレンジスクール	子育て講座(年4回市P共済) 若手中堅リーダー研修パワー アップゼミナール(6回)	子育て講座(年4回市P共済) 若手中堅リーダー研修パワー アップゼミナール(6回)	・体験教室(週末、春夏休み) ・大人のためのイベント(月1) ・日本宇宙少年団(月1) ・こまつチャレンジ(月1) ・ヒルズ科学クラブ(週1)	・おはなし会 毎月第2日曜日 本館 毎月第4日曜日 南部	英語部を中心に訪日外国人との 交流事業
	教育委員会関係雇用事務		指導力向上スーパーバイザー派遣 生徒指導アドバイザー派遣	教科研究会(中学校国語、数 学、英語、道徳、特別支援教 育)年6回			・図書館で読書会(入船亭扇治) 交渉中	通年で朝学習等で学習習慣づ くり
	教育委員会会議		学校訪問(5～12月) 県指定研究 11校 市指定研究 10校	不登校児童生徒徒親の会(年3 回)		・日本宇宙食展(秋) ・「宇宙からの光」展(冬)		(仮) 公立小松大学との連携 協議